

総括

■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および8月8日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は、北多摩地区に位置し、高度で専門性を有する医療の実施やさらなる病院機能の充実強化を図り、現在に至っている。リハビリテーション医療としては、呼吸器リハビリテーションに始まり、脳卒中を中心としたリハビリテーション病棟や回復期リハビリテーション病棟が開設されている。リハビリテーション科専門医をはじめ、豊富な人材を配置して多職種によるチーム医療が展開されている。

病院評価機能の受審については、「病院機能評価（付加機能）リハビリテーション機能（回復期）」の認定を受け、今回が2回目の更新を目的とした受審となった。地域において、呼吸器および脳卒中を中心とした専門的リハビリテーション医療の提供が行われており、各専門職やリハビリテーション科専門医の育成にも積極的に貢献されていることが確認された。今後も、高度で専門性のある医療を維持されるとともに、さらなる医療の質向上に向けて取り組まれることを期待したい。

2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

病院全体およびリハビリテーション科としての理念や基本方針は適切であるが、回復期リハビリテーション病棟の基本方針として具体的でより患者にわかりやすい内容の検討を期待したい。病棟にはリハビリテーション科専門医が配置され、他職種の管理者と協働で病棟運営が行われている。患者の健康管理は主治医制が採用されており、主治医不在時には他の病棟医が対応している。日々の急変時への対応はおおむね適切であり、病棟の療養環境は適切に整備されている。

必要なデータの収集・分析は適切に行われ、検討されている。職員への教育・研修も組織的に、かつ積極的に実施されている。地域医療連携室には、社会福祉士に

加えて入退院支援看護師が配置されている。急性期病院との連携のほか、障害福祉サービス・就労支援施設等との連携、高次脳機能障害患者の相談窓口、生活保護受給者の自宅退院における問題解決に向けた取り組み等、多岐にわたり積極的に対応している。

3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

日常のリハビリテーション医療は、専従医と各主治医の連携により適切に実施されている。病棟における必要なデータの収集・解析は適切である。医師の教育および研究活動については、各学会発表のほか、リハビリテーション科専門医の育成に向けた新専門医プログラムへの対応、医学生の実習受け入れ体制が構築されており、複数のリハビリテーション科専門医の育成実績があるなど高く評価できる。看護師は、基礎疾患を含めた病態の把握や再発予防に努めており、定期的な看護計画の修正を行い、多職種と情報を共有している。また、担当制により生活に密着したケアを実践している。各療法士は、専門性を発揮し、多職種と協働で患者の自立に向けたリハビリテーションが展開されている。さらに、体系的な教育プログラムを整備しており、多角的な視点で人材育成を行っている。

地域医療連携室には社会福祉士が配置され、病院全体の入退院窓口として入退院支援・患者相談・地域連携の業務等に従事しているほか、自院主催の地域医療連携交流会や地域支援事業等、活発な広報活動など地域レベルでの幅広い活動が行われており高く評価できる。病棟には専任の管理栄養士が配置され、患者の栄養管理を行っている。GLIM 基準を用いた栄養評価を行い、必要に応じて栄養管理計画書を多職種の意見も取り入れて作成している。また、多職種によるミールラウンドを実施し、チームで課題改善に取り組んでいる。

4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

全体を通じて医師をはじめとした多職種が連携し、入院当初からの初期評価、看護ケア・リハビリテーション計画が立案され、情報を共有しながらリハビリテーション・ケアが実践されている。日常の ADL やリハビリテーションの進捗情報は、早朝や定期カンファレンス、全体ミーティングなどで共有され、随時、記録の更新が行われている。また、ベッドサイドの ADL 連絡票により、スタッフ間の安静度や介助方法の統一を図るほか、患者自身に治療・ケアに対する主体的加を促すなど工夫している。

定期開催のカンファレンスおよび全体ミーティングでは、カンファレンスシートを用いて全体像の把握と課題整理、目標の見直しが行われている。多職種での合同カンファレンスを毎月実施してリハビリテーション総合実施計画書を作成されるよう期待したい。自宅復帰に向けた課題評価と併行して、入院当初より在宅での介護能力や住環境情報の収集が行われている。復職を目的とした患者に対しては、職場関係者とも面談し、職場復帰まで外来リハビリテーションを提供する支援体制も確立している。継続的な医療的処置や介護指導も担当看護師が中心となり、家族指導とその他の支援者への引き継ぎ等が適切に実施されている。

1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	Ⅲ
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	Ⅱ
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	Ⅱ
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	Ⅱ
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	Ⅱ
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	Ⅱ
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	Ⅱ
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	Ⅱ
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	Ⅱ
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	Ⅱ
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	Ⅱ
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	Ⅱ

2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	Ⅱ
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	I
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	I
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ
2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	Ⅱ
2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	Ⅱ
2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	Ⅱ
2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	Ⅱ

3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	Ⅱ
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	Ⅱ
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅱ
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	Ⅱ
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	Ⅲ
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	Ⅱ
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	Ⅱ
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	Ⅱ